

島根大学研究見本市

研究テーマ名 中国近代経済史の研究

(英訳) Study of China`s Modern Economic History

研究者紹介

富澤芳亜 (教授・教育学部)
Tomizawa Yoshia (Professor Faculty of Education)

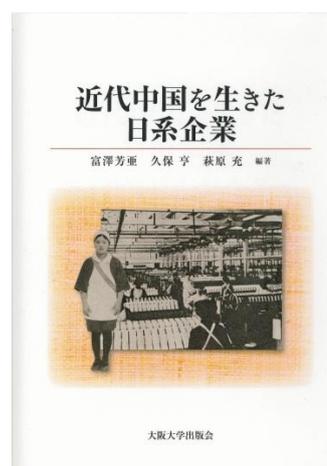
概要

私の研究は中国近現代経済・経営史に関するものであり、次の4点に整理できます。①近代中国の主要な産業部門だった綿紡織企業の経営の変革に関する研究、②こうした企業家層が政府の財政政策に与えた影響の研究、③近代中国の鉱業に関する研究、④近代中国企業全般に関する研究、になります。

特色 研究成果 今後の展望

研究の核心部分となるのが、1930年代における中国資本紡織企業における経営変革の解明です。これまで、銀行などの金融機関による経営改革、こうした経営改革における技術者層の役割、技術者養成における日本の高等教育機関の役割を解明してきました。また一連の綿紗統税に関する研究を通して、企業家層の中国国民政府の経済政策への影響力を明らかにしました。近代中国の鉱業に関しては、山東省の炭鉱の分析を通して、中華民国政府の関連諸法規の整備により、日本資本の活動が限定的なものだったことを解明し、通説に修正を加えました。また会社法や鉱業法の整備が、企業活動全般に与えた影響についても研究を進めています。

富澤芳亜、久保亨、萩原充編著『近代中国を生きる日系企業』大阪大学出版会、2011年



キーワード

中国史
近代史
経済史

リンク

<http://www.edu.shimane-u.ac.jp/staff/staff70.html>